

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	017 防災設備整備等関連事業									
戦略プラン	II	1	1	災害に強いまちづくりの推進			担当部課	市長公室危機管理課		
総合戦略							係名	危機管理係		
							新規・継続	継続		
予算科目	01-090102-12			地域防災推進に要する経費						
要求区分				事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画								事業体制	一部委託	
根拠法令	災害対策基本法						市長公約	48		
概要										
事業の目的					事業の概要					
災害発生時に備えて防災設備整備を行い、迅速な情報伝達や地域の活動に寄与することを目的とする。					<ul style="list-style-type: none"> 防災関係設備の整備及び維持管理（防災行政無線、防災アプリ及びラジオ等の情報伝達手段や防災井戸等） 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線整備方針新計画 防災行政無線設置に向けた実施設計 防災行政無線増設工事（3箇所） 					<ul style="list-style-type: none"> 小貝川、桜川の新たな浸水想定区域3地区（古来、吉瀬、吉沼館笠）の区長と設置場所の協議実施（3基設置、設置スケジュール見直しと高性能スピーカーの導入） ※H30年 3基（うち高性能2基）〔新規浸水想定区域増設〕 H31年 7基（うち高性能4基）〔新規浸水想定区域・土砂災害履歴区域増設〕 H32年 6基（うち高性能6基）〔新規浸水想定区域増設〕 H33年 6基（うち高性能4基）〔荃崎地区危険箇所〕 目標設置数：H33年度末60基（100%） 					
成果					課題					
災害時に防災行政無線を通して緊急放送できる体制が整った。					各地域に公有地が必ずあるとは限らないため、設置予定場所の確保が困難である。					
改善目標（R01年度にむけて）										
法務局にて設置予定場所の登記簿を取得し、地権者、地元区長及び近隣住民の同意を得ながら、円滑に事業を進めていく。										
指標の推移										
1	指標名	デジタル型防災行政無線の設置割合					(%)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	90.0	68.0	80.0	90.0		
	実績	0.0	0.0	86.0	90.0	68.0	0.0	0.0		
	指標の概要	土砂災害警戒区域、浸水想定区域、急傾斜地等の災害リスクが高いエリアへの計画に対しての防災行政無線設置割合（H29年度土砂災害・浸水想定区域の拡大に伴い、目標値修正）								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	21,000	28,400	62,000	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	12,965	26,653	16,633	0
事業費計		(千円)	33,965	55,053	78,633	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.60		
		時間外勤務 (時間)	150.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	3,933	4,360		
事業コスト		(千円)	37,898	59,413		

R01年度当初積算根拠	【光熱水費】電気料	計720千円
	【修繕料】施設修繕料	計1,481千円
	【委託料】防災行政無線保守点検委託料	計6,103千円、災害用深井戸ポンプ点検委託料
	計1,201千円、防災倉庫基本計画策定支援業務委託料	計495千円
	【使用料及び賃借料】防災行政無線電波使用料	計1,924千円
	【工事請負費】防災行政無線整備工事	計62,040千円

予算の方向性	理由	新たな浸水想定区域が発表され、防災行政無線整備地域が増えたため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	018 避難所機能強化事業									
戦略プラン	II	1	1	災害に強いまちづくりの推進			担当部課 係名	市長公室危機管理課 危機管理係		
総合戦略							新規・継続	継続		
予算科目	01-090102-12			地域防災推進に要する経費						
要求区分			事業期間				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画								事業体制	職員のみ	
根拠法令	災害対策基本法						市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
災害発生時において、被災した市民等に救援物資及び生活物資等を供給することを目的とする。					・交通手段の断絶や流通機構の停止等により、物資供給に大きな支障が生じるおそれがあるため、災害発生から概ね3日間程度の物資確保を行う。					
評価										
事業計画					活動実績					
・5ヶ年計画に基づき、水、食料を購入（5年目） ・出前講座などで備蓄品の紹介及び有効利用を図る。 ・茨城県の被害想定に基づき備蓄計画の見直しを実施					・備蓄5ヶ年年計画に基づき、水と食料を入札により購入 各学校防災倉庫、本部倉庫に納品 ・新設3校（秀峰筑波・学園の森・みどりの）に学校防災倉庫を設置					
成果					課題					
備蓄品の確保を行い、市民の安全、安心に寄与した。 保育園、幼稚園、小、中学校への備蓄品の配布や、出前講座、防災イベント等での備蓄品の有効活用を図り、市民の防災意識を高めることに役立てた。					本部倉庫の代替施設の検討が必要である。 賞味期限切れ前の備蓄品有効活用を検討する必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）										
賞味期限切れ前の備蓄品有効活用、本部倉庫の代替施設を検討する。										
指標の推移										
1	指標名	備蓄品確保状況					(%)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	80.0	100.0	100.0	100.0		
	実績	0.0	0.0	60.0	80.0	100.0	0.0	0.0		
	指標の概要	備蓄品（水・食料）の確保率 ※20,000人分（三食/人×3日分）を100とした場合の充足率								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	13,572	18,543	18,996	0
事業費計		(千円)	13,572	18,543	18,996	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.35	0.60		
		時間外勤務 (時間)	150.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,867	4,360		
事業コスト		(千円)	16,439	22,903		

R01年度当初積算根拠	【需用費】 備蓄用食料品	計11,438千円
	【需用費】 備蓄用消耗品	計 4,152千円
	【備品購入費】 管理用備品	計 2,664千円

予算の方向性	理由	上郷高校体育館を暫定利用しているため、恒久的な本部倉庫施設を検討、整備していく。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	019 自主防災組織・地域防災活動支援事業									
戦略プラン	II	1	1	災害に強いまちづくりの推進	担当部課	市長公室危機管理課				
総合戦略	IV	2	(1)	災害に強いまちづくりの推進	係名	危機管理係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画										
根拠法令	災害対策基本法				事業体制	補助金（間接）				
					市長公約	49				
概要										
事業の目的					事業の概要					
大規模災害の発生に備え、共助の観点から自主防災組織の結成や活動支援を行い防災活動の強化を図ることを目的とする。					<ul style="list-style-type: none"> 組織発足の際の支援や資機材購入の一部補助等を行う。 ※行政改革アクションプラン「68 自主防災組織結成の推進」該当事業					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 補助要綱に基づき自主防災組織発足支援及び資機材等の購入支援 資機材等補助：上限25万 活動運営補助：上限3万 井戸整備補助：上限50万 防災士資格取得補助：1.1万円 					<ul style="list-style-type: none"> 市内全区長宛てに自主防災活動パンフレット、自主防災組織補助金の要綱、申請書様式を送付し、自主防災活動の重要性、補助金の周知を図った。 資機材等補助：2団体 活動運営補助：1団体 防災士資格取得補助：4団体10名 茨城県主催のいばらき防災大学を開催：市民59名参加 市内の防災士を対象にした「防災士フォーラム」を初めて開催：防災士75名参加 					
成果					課題					
防災士資格取得機会である、いばらき防災大学をつくば市内で開催し、防災士取得の場を設け市民が参加し防災士の資格を取得したことにより、地域の防災活動を強化できた。					自主防災組織の活性化・地域防災活動に対する地域の意思形成の統一が図られていない。 いばらき防災大学の開催地により、参加者人数が大きく増減する。					
改善目標（R01年度にむけて）										
全区会へ自主防災活動の促進を周知し、防災士フォーラムを継続して開催することにより、自主防災組織の活性化と地域防災力の向上を目指す。										
指標の推移										
1	指標名	自主防災組織のカバー率					(%)		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	49.0	63.0	63.0	63.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	63.0	65.4	0.0	0.0		
	指標の概要	自主防災組織を有する行政区の世帯数をつくば市全体の世帯数で除した値								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	50	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	821	1,665	5,409	0
事業費計		(千円)	871	1,665	5,409	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.50		
		時間外勤務 (時間)	100.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	3,096	3,654		
事業コスト		(千円)	3,967	5,319		

R01年度当初積算根拠	【補助金】	自主防災組織活動育成事業費補助金	計5,050千円
	【役務費】	郵便料	計58千円
	【需用費】	自主防災組織パンフレット	計270千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	020 防災意識啓発事業									
戦略プラン	II	1	1	災害に強いまちづくりの推進			担当部課 係名	市長公室危機管理課 危機管理係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	01-090102-12 地域防災推進に要する経費									
要求区分			事業期間				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画								事業体制	職員のみ	
根拠法令							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
災害への備え（備蓄や家具の転倒防止など）の重要性を市民等に伝え、自分の身は自分で守る（自助）を育成することを目的とする。					<ul style="list-style-type: none"> 出前講座や学校等での啓発 地域等からの相談内容に応じた研修等の対応 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 出前講座へ出向き意識啓発（自助・共助・公助）を行う。 マンション連絡会と共同で防災セミナーを開催し意識啓発を行う。 シェイクアウト訓練を実施する。 					<ul style="list-style-type: none"> 出前講座を27回、学校防災会議2回開催、参加した。 5月12日 マンション連絡会と防災セミナーを共同開催 9月23日 Biviつくばにて大和リース（株）と防災イベントを共同開催 11月1日 シェイクアウト訓練を実施 11月13日 LaLaガーデンで防災イベント開催 					
成果					課題					
出前講座や防災イベント等により市民の防災意識を高めることが出来た。					出水期（7月～10月）は台風などの大雨等が予想され、危機管理課職員が市役所での待機となるため、出前講座の依頼を受けることが出来ない。					
改善目標（R01年度にむけて）										
シェイクアウト訓練について、民間企業でも実施していただけるよう企業訪問などをしながら周知していく。										
指標の推移										
1	指標名	出前講座回数					(回)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,781	18,361	11,403	0
事業費計		(千円)	9,781	18,361	11,403	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.45	0.50		
		時間外勤務 (時間)	100.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	3,452	3,778		
事業コスト		(千円)	13,233	22,139		

R01年度当初積算根拠	【印刷製本費】	ハザードマップ、シェイクアウトポスター等印刷	計820千円
	【委託料】	防災等番組制作・放送委託料	計4,522千円
	【負担金】	防災ヘリコプター運航連絡協議会負担金	計3,297千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	175	1,006	0
事業費計		(千円)	0	175	1,006	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.35	0.60		
		時間外勤務 (時間)	100.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,741	4,484		
事業コスト		(千円)	2,741	4,659		

R01年度当初積算根拠	【報酬】 防災会議委員報酬	計64千円
	【報償費】 防災会議委員謝礼	計15千円
	【旅費】 防災会議委員費用弁償	計32千円
	【印刷製本費】 地域防災計画印刷代	計895千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.35	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	2,488	2,118		
事業コスト		(千円)	2,488	2,118		

R01年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	342	336	0
事業費計		(千円)	0	342	336	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.60		
		時間外勤務 (時間)	0.00	100.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	4,484		
事業コスト		(千円)	0	4,826		

R01 年度当初 積算根拠	【消耗品費】 防災訓練用消耗品	計109千円
	【負担金】 防災訓練災害補償負担金	計227千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	2,200	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	8	218	476	0
事業費計		(千円)	8	2,418	476	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.30		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	737	2,143		
事業コスト		(千円)	745	4,561		

R01年度当初積算根拠	【報酬】 国民保護協議会委員報酬	計56千円
	【旅費】 国民保護協議会委員費用弁償	計14千円
	【需用費】 消耗品費	計10千円
	【印刷製本費】 国民保護計画印刷代	計396千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		